



今できること、「考える」から「行動する」へ!

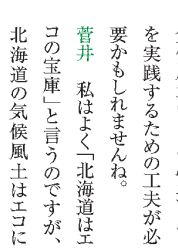


エコの宝庫・北海道の可能性。

菅井 私(私)が横浜から北海道に移住した最初の冬、室内の暖かさに驚きました。関東では寒い室内で厚着するのが当たり前だったので、北海道の住宅の気密性断熱性の高さを実感しました。

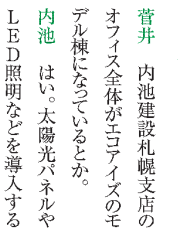
内池 住宅性能もさることながら、北海道では習慣的に室温を上げて厚着で過ごす人が多いですね。エコの観点からは室温18〜20℃くらいが理想ですが、北海道の気候風土のもとで快適にエコを実践するための工夫が必要かもしれませんね。

菅井 私はよく「北海道はエコの宝庫」と言うのですが、北海道の気候風土はエコに



適しているんですよ。梅雨がなく通年の日照時間が長いので効率的に太陽光発電ができるし、台風が少なく風量が安定しているので風力発電にも向いている。新エネルギーの可能性は十分にあります。

内池 北海道の可能性を生かすためには、道民のエコ意識の向上が必要ですね。室温を下げて厚着するだけでも大きなエコ効果が期待できそうです。わが家も実践しなければ(笑)。



会社から社会へ、エコの輪を広げる。中小企業のチカラ。

菅井 内池建設さんは昨年発表した新プロジェクト「エコアイズ」でオフィスのエコ化を推進されていますね。

内池 「環境と文化をデザインする」というコンセプトの下、中小企業に向けて安価で快適なオフィスのエコデザインを提案しています。オフィスの空間デザインが魅力的だと仕事のモチベーションがアップする。すると効率的に仕事を片付けて早く退勤できるから、オフィスの省エネにつながる、という発想です。大企業ではすでにこの事業が進んでいますが、中小企業はまだエコ意識が低いのが現状。でも日本の企業の9割以上は中小企業ですから、中小企業からエコを実践し、社員から家族へ、地域へとエコ意識が広がれば、社会全体を変える大きな力になると信じています。



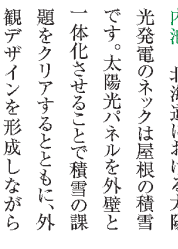
末永く愛されてこそ、長期優良住宅の価値がある。

菅井 内池さんは北海道を拠点に住宅やオフィスなどの建築を手掛けていらっしゃると思いますが、建築の観点から環境問題をどのように捉えていますか?

内池 建築業界でも長期優良住宅の認定基準を設け、建て替えに伴う廃棄物の排出を抑制して環境負荷を減らそうという動きが出ています。これは住宅性能に関するさまざまな認定条件をクリアすることで、特別控除などの優遇措置が受けられるというもの。しかし私は、建築におけるエコの本質は数

エコメデザインで、会社も社会も元気になる。

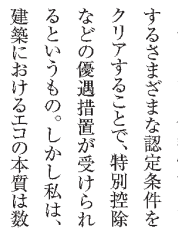
末永く暮らしたくなる家。どんな仕事も片付くオフィス。建築から発想するエコアクションについて、フリーキャスター・菅井貴子さんと(株)内池建設代表取締役・内池秀敏さんが語り合いました。



エコメデザインで北海道のオフィスをエコ化。

菅井 内池建設札幌支店のオフィス全体がエコアイズのモデル棟になっているとか。

内池 はい。太陽光パネルやLED照明などを導入する



値だけで表せるものではないと思っています。

菅井 建築におけるエコの本質とは?

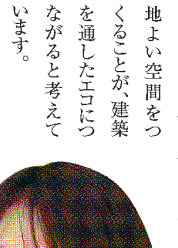
内池 建築は変わらなくても家族構成やライフスタイルは歳月とともに変化するため、デザインの好みも変化する。実は中古住宅の転売理由のひとつが、間取りやデザインに対するニーズの変化なんですね。数値がどんなに優れていても、水きにわたって愛される家であれば意味がない。優れた住宅性能を基本に、歳月を重ねても飽きのこないデザイン性を備えた心地よい空間をつくるのが、建築を通じたエコにつながるかと考えています。



とともに「ゴミベースを1カ所にまとめることで各デスクのゴミ削減を実現。ペットボトルのゴミ箱もなく、マイボトル持参を奨励しています。また、天然素材を多用した空間デザインも特長のひとつ。エコにデザインという付加価値を加え、快適な就業環境を提供し、社員のモチベーションを高めることで生産性や作業効率を向上させ、企業全体のエコ推進を目指します。

菅井 太陽光パネルが屋根ではなく外壁に取り付けた外観もユニークですね。

内池 北海道における太陽光発電のネックは屋根の積雪です。太陽光パネルを外壁と一体化させることで積雪の課題をクリアするとともに、外観デザインを形成しながら



エコメッセージを発信します。

菅井 北海道の企業らしいアイデアですね。2月中旬に発表される「北海道新聞エコ大賞」でも北海道ならではの新しいエコアクションに出合えることを期待しています。

内池 私たちにとっても今後のオフィスエコを発想する上でヒントになりそうです。「北海道新聞エコ大賞」発表を楽しみにしています。

■(株)内池建設 代表取締役

うちいけ ひでとし
内池 秀敏さん

室蘭市出身。東京電機大学卒。一級建築士。パナホームに入社し、設計と営業に携わる。2006年2月内池建設社長室長就任。07年より現職。同社では一般住宅や各種施設の建築を幅広く手掛けるほか、10年12月にオフィスエコ化を推進する新プロジェクト「エコアイズ」を発表。



●今回の対談場所

(株)内池建設札幌支店(札幌市中央区北2条西14丁目)
内池建設のオフィスエコ化プロジェクト「エコアイズ」のモデル棟として今年1月に完成。「環境と文化をデザインする」をコンセプトに、中小企業向けのオフィスエコデザインを提案しています。

■フリーキャスター・気象予報士

すがい たかこ
菅井 貴子さん

横浜市出身。全国放送局で、天気予報や環境番組のキャスターを務める。2005年から北海道に移住。気象予報士・防災士・CFPなどの資格も有する。小中学校への環境出前授業や講演を行うほか、北海道環境審議委員も務める。09年11月には「なるほど!北海道のお天気」(北海道新聞社)を出版。

「北海道新聞エコ基金」では、道内各地の環境活動を資金・情報の両面からサポートする「北海道エコ大賞」を実施中。菅井貴子さんも名を連ねる審査委員会によって、現在審査選考会が行われています。審査結果発表は2月下旬予定。お楽しみに!

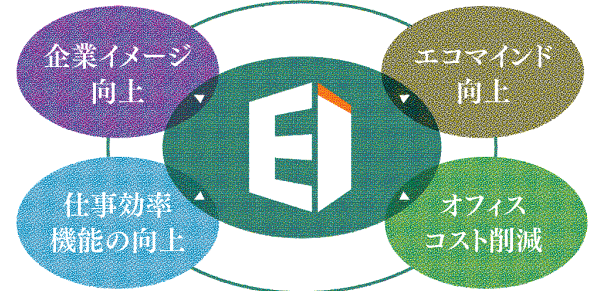
▶詳細はホームページへ <http://eco.hokkaido-np.co.jp> 北海道エコ・アクション 検索 企画制作/北海道新聞社広告局



エコデザインで会社が
変わっていく。
「エコアイズ」が提供する
価値とは?

例えば、太陽光パネル。
施工方法や発電効率向上ばかりが目につきがちですが、事業者が設置する本当の狙いは、社会的メッセージ効果なのではないかと考えます。
私たちは、太陽光パネルの発電効率向上だけではなく、社会的メッセージの影響が最大化する施工方法を提案します。
「エコ化」された建築物がエコ意識を喚起する広告塔の役目を果たし、社員や地域住民のエコ意識向上に役立てると考えます。

エコアイズ提供サービス



- 企業イメージ向上**
太陽光パネルのエコデザイン、オフィスのエコデザイン
EMS、エコファンディングプロモーション
- エコマインド向上**
グリーン計画・天然素材使用の内装材(珪藻土や無垢材)
EMS、エコモニタリング・3R・5S・クールビズ・ウォームビズ
- 仕事効率・機能の向上**
オフィスのエコデザイン・省エネ、オフィスのエコデザイン
3R・5S・時間割灯ルール・フリーアドレス方式
- オフィスコスト削減**
LED照明、省エネ空調設備・新熱交換・EMS
時間割灯ルール、IT会議システム・3R・5S

お問い合わせ・資料請求受付中

